

2021年3月期 決算の概要

2021年5月12日

みずほリース株式会社

MIZUHO

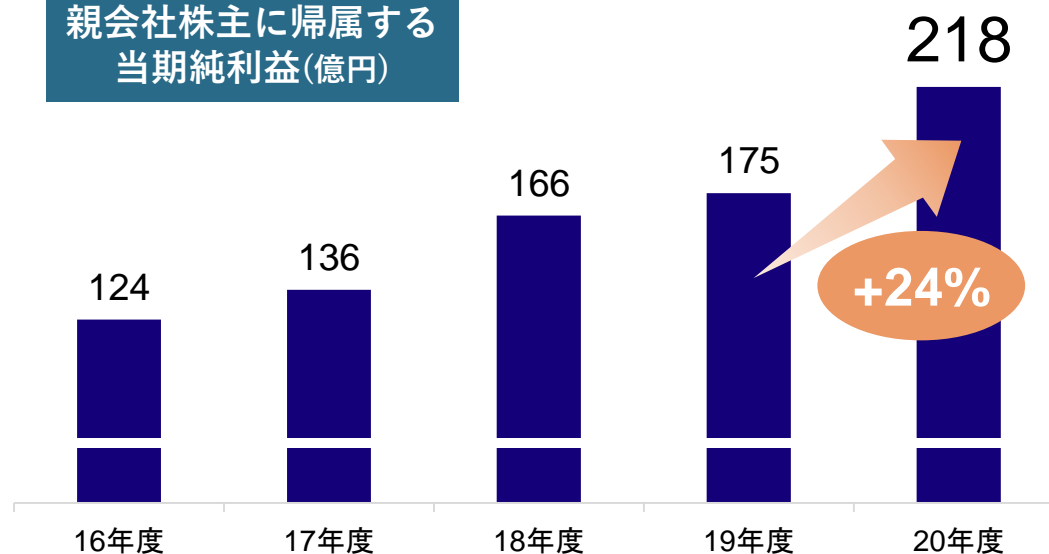
2020年度の総括

親会社株主に帰属する
当期純利益は

218億円

8期連続で最高益更新

親会社株主に帰属する
当期純利益(億円)



2020年度の通期予想と実績(億円)

	20年度 実績①	通期予想 ② ③		達成率 (①/②)
売上高	4,979	5,000	(5,000)	100%
営業利益	260	235	(208)	110%
経常利益	275	255	(236)	108%
親会社株主に帰属する当期純利益	218	200	(180)	109%

各段階利益は上方修正後の
通期予想を上回る

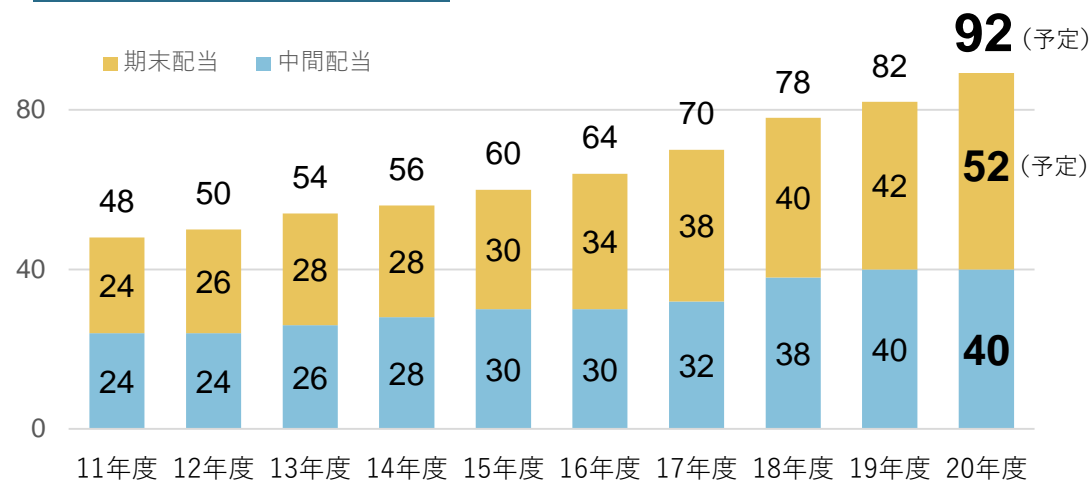
*② 2021年2月9日上方修正 *③ 2020年5月14日公表

2020年度の総括

年間配当金は**92円**
(前年度比**+10円**)

19期連続で増配を予定

配当金の長期推移(円)

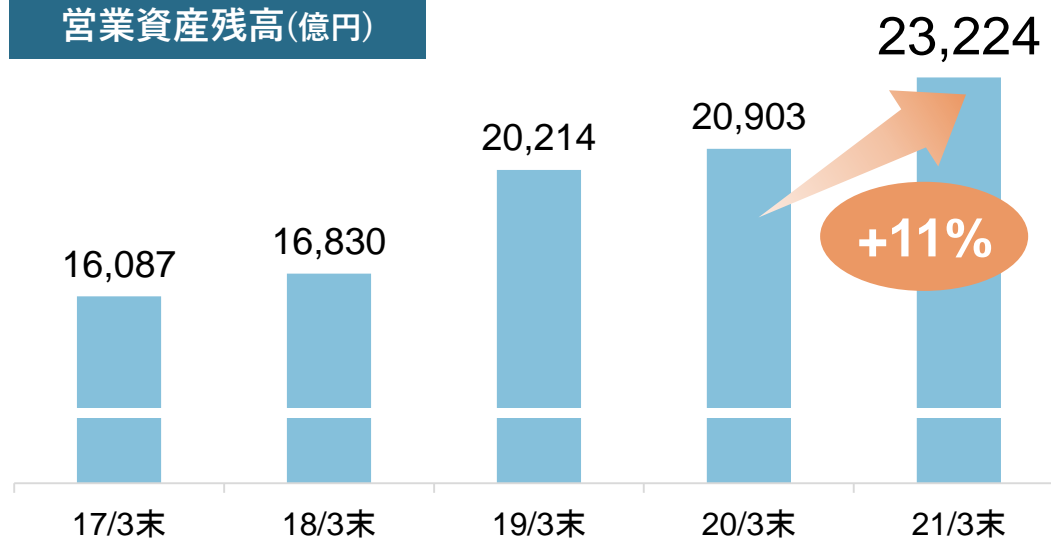


営業資産残高は

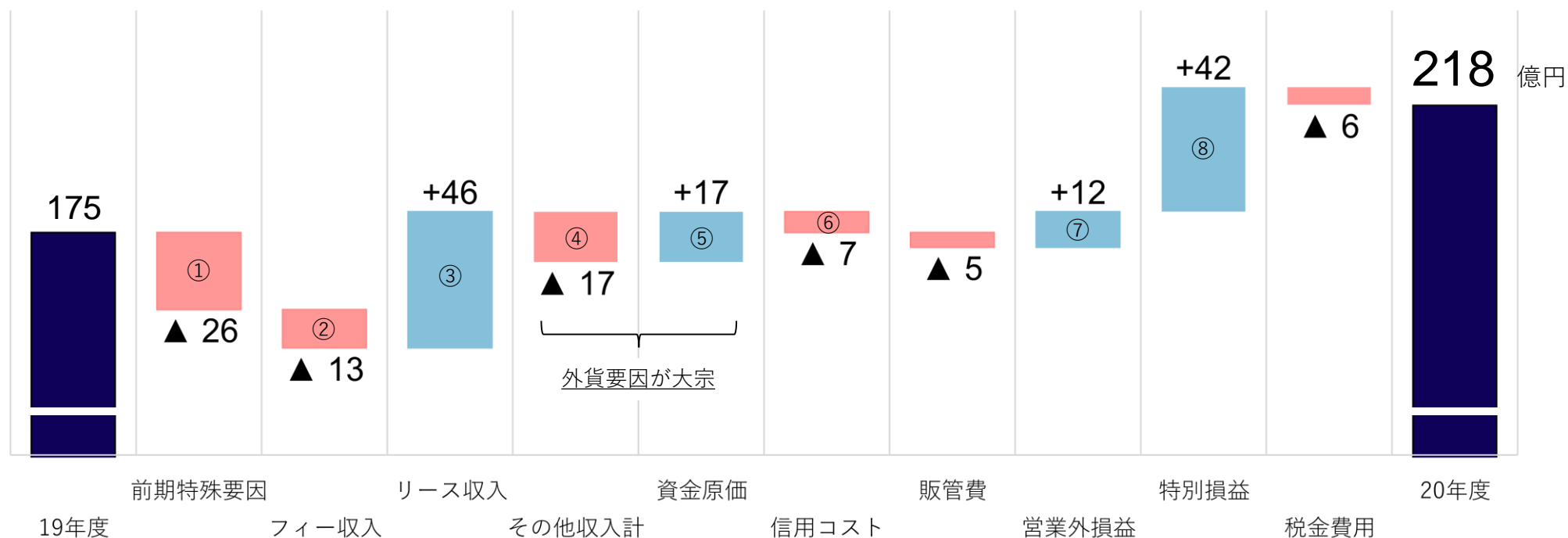
前年度末比 **2,321億円増加**

2兆3,224億円に

営業資産残高(億円)



親会社株主に帰属する当期純利益の増減要因



①前期特殊要因	19年度に発生した営業投資有価証券売却に伴う減収（売却益と配当収入の減少）
②フィー収入	コロナ禍の影響を受けJOLCO販売によるフィー収入減少
③リース収入	残高積み上げによるリース収入の増加が牽引
④その他収入計	外貨金利の低下による収入減少等が要因
⑤資金原価	外貨調達金利の低下を主因に資金コストは低下
⑥信用コスト	信用コストは前年度の戻入から転じて、小口の繰入に
⑦営業外損益	リコーリース(株)をはじめとする持分法による投資利益が増加
⑧特別損益	投資有価証券売却益の特別利益計上が主因

決算概要

(億円)	18年度	19年度	20年度	増減	増減率
売上高	3,849	5,392	4,979	▲413	▲8%
差引利益	526	603	593	▲10	▲2%
資金原価	85	97	80	▲17	▲18%
売上総利益	441	505	513	+8	+2%
信用コスト	▲2	▲3	4	+7	-
営業利益	229	263	260	▲3	▲1%
営業外収益	24	15	35	+20	+134%
経常利益	242	267	275	+8	+3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	166	175	218	+43	+24%

不動産ブリッジ案件の満了に伴う売却
売上が減少

厳しい事業環境下ながら売上総利益
段階で着実に増益

差引利益率	2.84%	2.93%	2.69%	▲0.24pt	-
-------	-------	-------	-------	---------	---

(注) 差引利益率 = 差引利益 ÷ 営業資産 (期首期末平均残高)

フィー収入や営業投資有価証券の売却
益の減少を主因に差引利益率は低下

(億円)	19/3末	20/3末	21/3末	増減額	増減率
営業資産残高	20,214	20,903	23,224	+2,321	+11%
純資産	1,822	1,958	2,109	+151	+8%
自己資本比率	8.0%	7.9%	7.7%	▲0.2pt	-

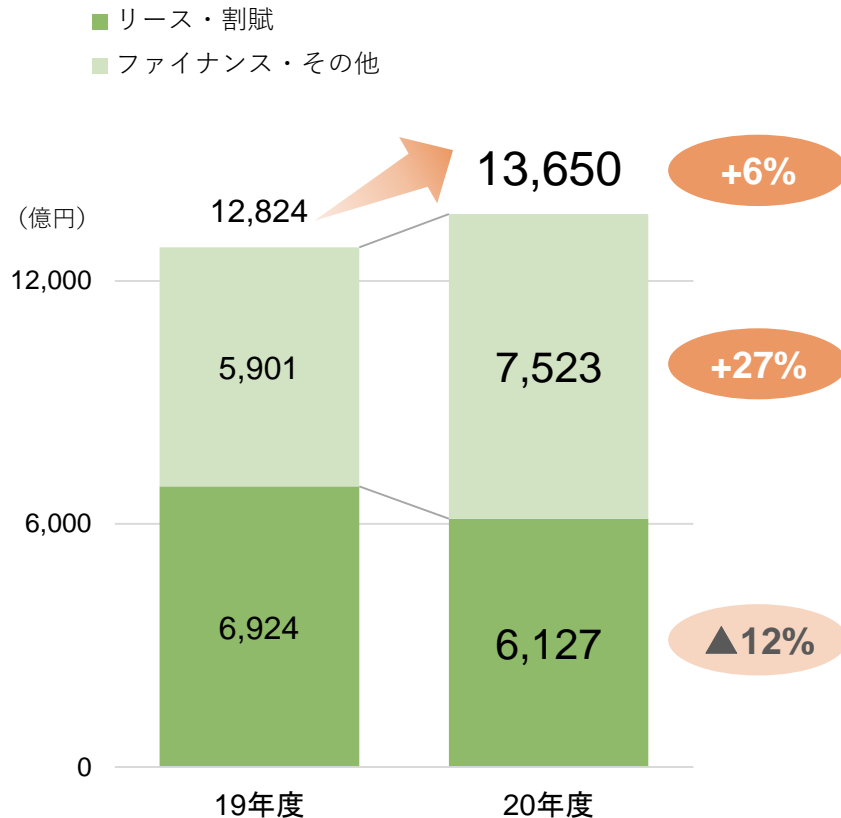
リース資産を中心に残高増加

事業の状況

契約実行高

契約実行高は前年度比+6%増加

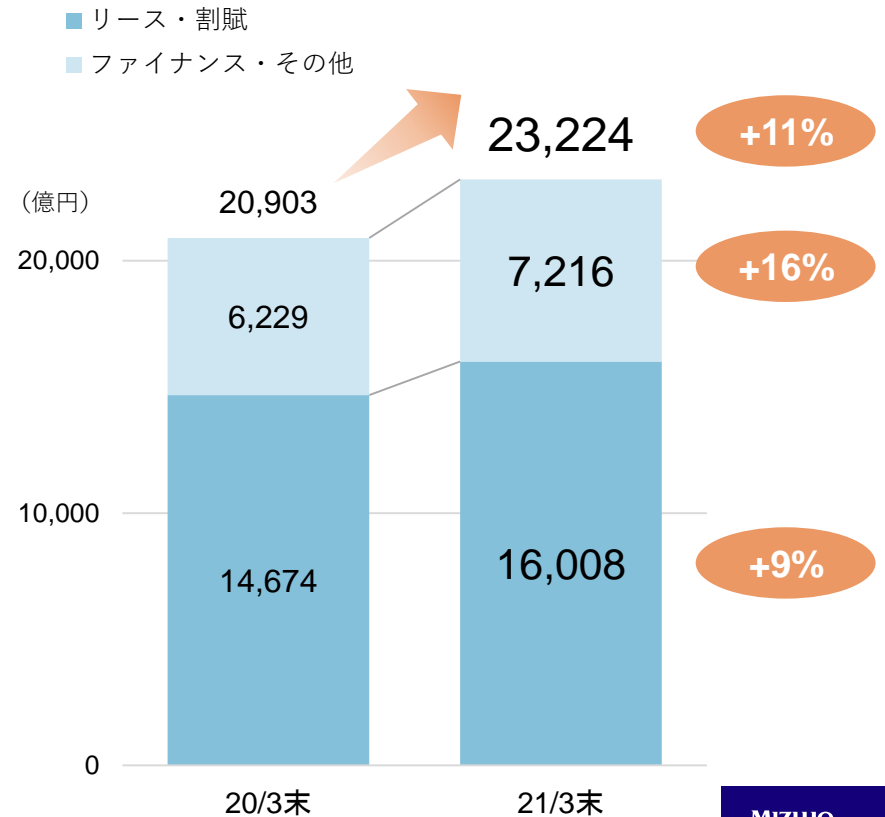
- リース・割賦はコロナ影響により総じて減少のなか、情報通信機器の大口案件等を捕捉
- ファイナンスでは、不動産と短期の商流ファイナンスが伸長



営業資産残高

営業資産残高は前年度末比+11%増加

- <みずほ>連携効果等により事業基盤は着実に拡大
- 不動産リース及びファイナンス、情報通信機器の増加が寄与



契約実行高／リース・割賦セグメント

機種別契約実行高

(億円)

	18年度	19年度	20年度	増減額	増減率	
情報通信機器	934	1,529	1,761	+232	+15%	通信事業者等の設備投資ニーズを取り込み
不動産	1,268	1,806	1,543	▲263	▲15%	物流施設等のブリッジ案件が中心
産業・工作機械	1,141	1,450	1,308	▲142	▲10%	
輸送用機器	713	762	372	▲390	▲51%	航空機オペレーティングリースの 取り組み抑制、並びに、バス・運送 会社向けの案件減少
土木建設機械	447	401	336	▲65	▲16%	
商業・サービス業用機器	382	301	221	▲80	▲26%	
医療機器	203	156	112	▲44	▲28%	中国での取り組みを抑制
その他	406	518	474	▲44	▲9%	
合計	5,494	6,924	6,127	▲797	▲12%	

契約実行高／ファイナンスセグメント

契約実行高

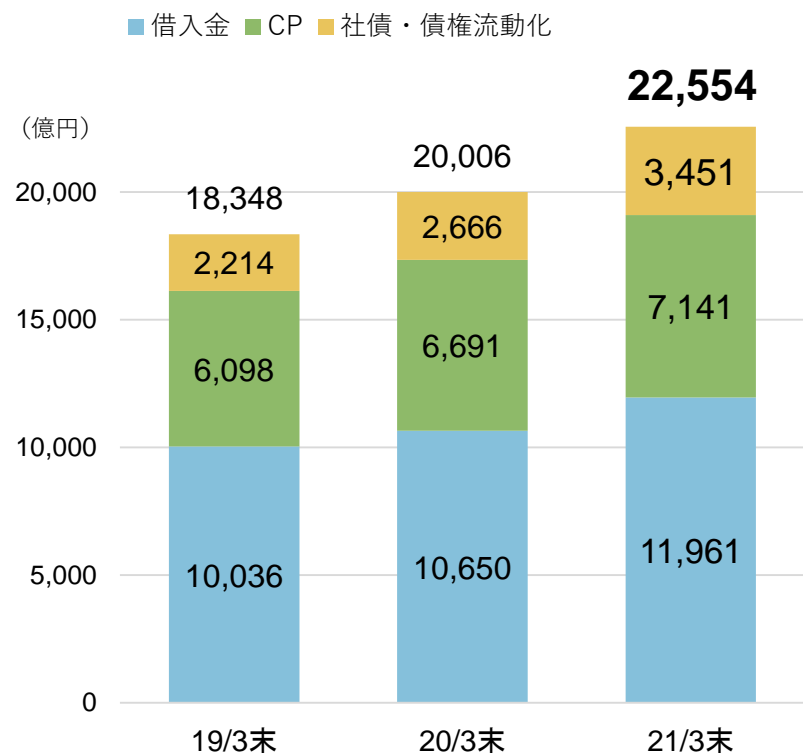
(億円)	18年度	19年度	20年度	増減額	増減率
商流ファイナンス・融資等	8,563	4,923	6,270	+1,347	+27%
不動産	970	578	1,052	+474	+82%
船舶	206	200	170	▲30	▲15%
航空機	228	200	30	▲170	▲85%
合計	9,967	5,901	7,523	+1,622	+27%

<みずほ>連携による物流施設等のメザニンローンやブリッジが増加

資金調達等の状況

- 調達の安定性確保とコスト抑制のため、社債やCP等直接調達を活用
- 外貨調達金利の低下を主因に資金原価は減少し、資金原価率も低下

有利子負債残高



資金原価（率）

(億円)	18年度	19年度	20年度
資金原価	85	97	80
資金原価率	0.46%	0.47%	0.36%

(注) 資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産 (期首期末平均残高)

外部格付の状況

格付機関	格付	
R&I	長期	A
	短期	a-1
JCR	長期	A+
	短期	-

業績予想及び配当

2021年度業績予想

- 経済環境は緩やかに回復に向かうと見込まれるが、新型コロナウイルスが与える影響については、変異株の発生やワクチンの普及状況等不確実性も高く、**2021年度内は留意を要する状況が続くと想定**
一部の業種について設備投資の抑制や信用コストの増加等の影響を見込む
- 先行きは不透明であるが、第6次中期経営計画への取り組みに一層注力し、**親会社株主に帰属する当期純利益で230億円**を目指す

(億円)	2019年度 (実績)	2020年度 (実績) ①	2021年度 (予想) ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①
売上高	5,392	4,979	5,500	+521	+10%
営業利益	263	260	300	+40	+16%
経常利益	267	275	330	+55	+20%
親会社株主に帰属する 当期純利益	175	218	230	+12	+6%

配当金

- 2020年度の期末配当金は、当初予想44円から8円上方修正し、52円を予定
- 2021年度の業績予想のもと、配当性向等株主還元と資本蓄積のバランスを考慮し、年間配当金は110円と20期連続の増配を予定

	2019年度 (実績)	2020年度 (実績) ①	2021年度 (予想) ②	増減額 ②-①
年間配当金	(※) 82円	(予定) 92円	110円	+18円
中間配当	(※) 40円	40円	55円	+15円
期末配当	42円	(予定) 52円	55円	+3円
(※) 記念配当2円を含む				
配当性向	22.7%	20.4%	23.1%	+2.7pt

決算補足資料

第6次中期経営計画（2019～2023年度）の概要

全てのお客様に対し、財務戦略・事業戦略に資するソリューションを提供

顧客基盤拡大による
リース・ファイナンス事業の強化

新ビジネス戦略の進化

- サービスビジネス
- 共同事業運営
- 商流サポート

注力分野への継続取り組み

- | | |
|----------|----------|
| 環境・エネルギー | 医療・ヘルスケア |
| グローバル | 航空機 |
| 不動産 | テクノロジー |

戦略的ビジネスパートナーとの協業

みずほフィナンシャルグループ

- 国内外最大級の顧客基盤
 - 銀行・信託・証券等を含めたグループ連携力
- リース・ファイナンス事業の強化・拡充
- 「新ビジネス戦略」の共同推進

丸紅

- 海外のネットワーク
 - 総合商社由来の多種多様なリース・ファイナンスの商材
- 海外リース・ファイナンス事業の強化
- 新規海外事業投資

経営基盤の強化

- | | | | |
|--------------|----------|------|---------------|
| グループガバナンスの強化 | 業務生産性の向上 | 人材戦略 | リスクリターン運営の高度化 |
|--------------|----------|------|---------------|

第6次中期経営計画（2019～2023年度）の最終年度の連結数値目標

親会社株主に帰属
する当期純利益

300億円

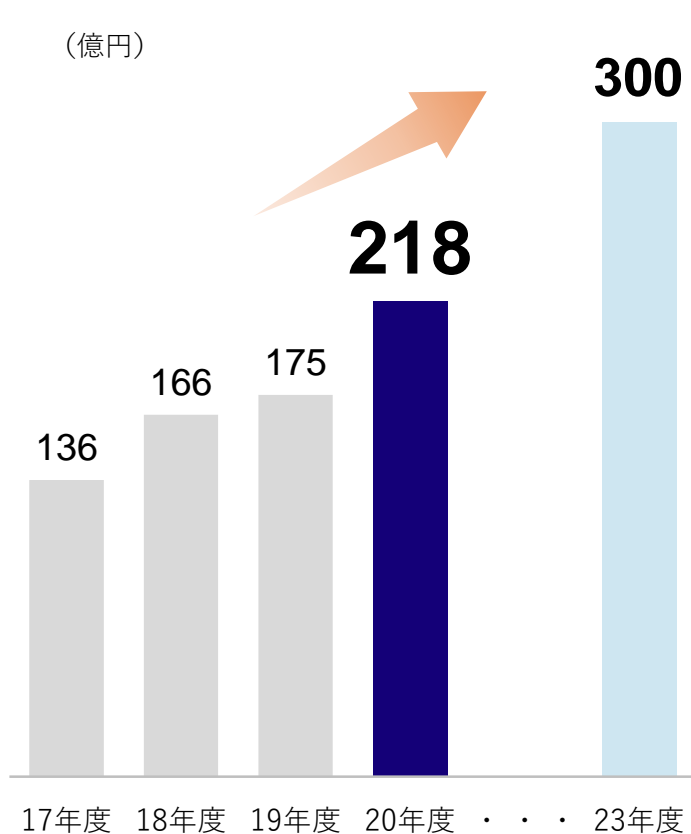
グローバル分野
の残高

2019年3月末比
3倍

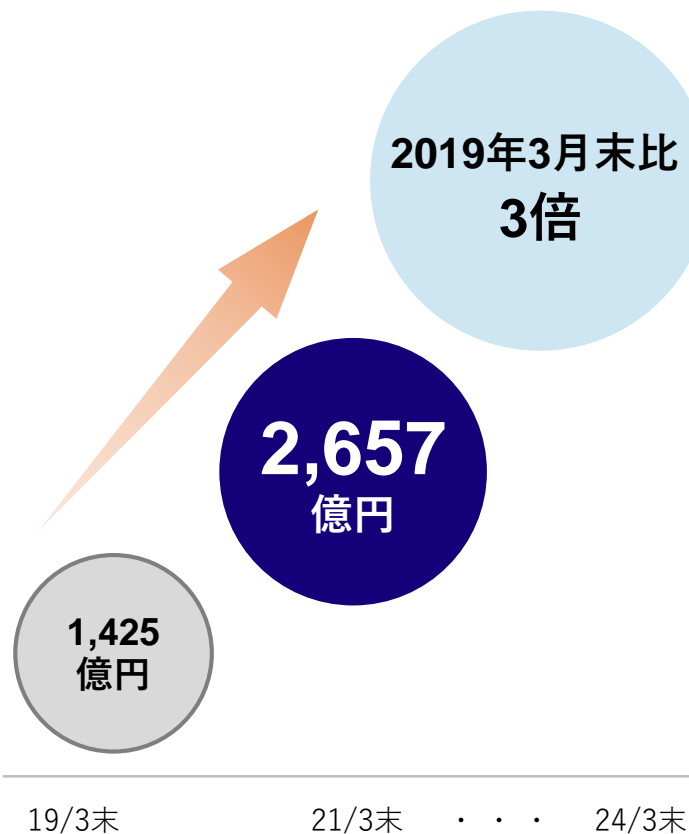
配当
性向

25%以上を
目指す

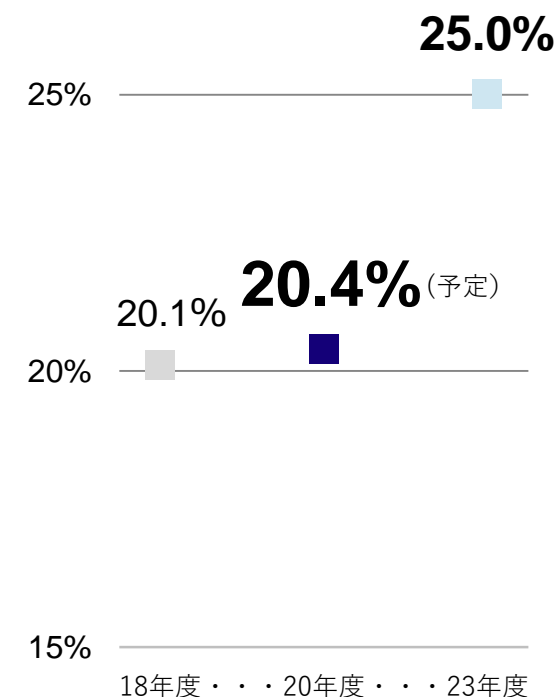
(億円)



20年度実績 218億円



21年3月末残高 2,657億円



20年度配当性向
20.4%(予定)

ニーズをつなぎ、未来を創る

お問い合わせ先

みずほリース株式会社

経営企画部

コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5253-6540

FAX:03-5253-6539

本資料には現時点で入手している情報に基づき当社が判断した将来の予測数値が含まれておりますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
将来に関する事項については様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。

MIZUHO